

x-rite | e^xact™

Auto-Scan



設置および操作

 x-rite
PANTONE®

 注記記号が表示されている箇所は必ずお読みください。

この記号は危険を引き起こす可能性がある、または注意を払う必要があることを表します。

CE Declaration (ヨーロッパ)

 Hereby, X-Rite, Incorporated, declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directives 2014/35/EU (LVD), 2014/30/EU (EMC), and RoHS 2011/65/EU.

Federal Communications Commission Notice (米国)

注記 : This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Industry Canada Compliance Statement (カナダ)

CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)

機器の注意

 エックスライト社により承認された用途以外に本製品を使用した場合、設計・機能に影響を与えるだけでなく、危険性を伴うことがあります。

警告 : 本機を爆発物の付近に設置しないでください。

注意 : クラス 1 レーザー製品 : 波長 637 nm

IEC 60825-1 に準拠 : 2007 および 21CFR1040.10 レーザー製品安全規格

LI635-5-3(8x26)42-F1500 P/N 70107593 Picotronic GmbH



廃棄物処理の手順 : 廃電気・電子機器指令 (WEEE) の対象となる機器製品は指定の収集場所にて廃棄してください。

著作権表示

本使用説明書は X-Rite, Incorporated が有する特許および独自のデータによる著作物です。本使用説明書の内容および複製物についての権限は X-Rite, Incorporated が有します。お客様は本説明書のいかなる部分も複製できません。本機の設置、操作、維持以外の目的で本説明書を使用することはできません。X-Rite, Incorporated から書面での許諾を取得せずに、本書類のいかなる部分も、電子、磁気、機械、光学、手動等の形式を問わず、複製、複写、送信、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ用語に翻訳することはできません。

本製品は、1 つ以上の特許を取得済みです。特許番号は本体に表示されています。

Copyright © 2019 by X-Rite, Incorporated “ALL RIGHTS RESERVED”

X-Rite® は、X-Rite, Incorporated の登録商標です。その他、記載されているロゴ、商標名、製品名は各社の登録商標です。

限定保証

X-Rite は、本製品に対して X-Rite からの出荷日から 12 ヶ月の校正および製造の保証を提供します。保証期間内は欠陥部品を無償で交換または修理いたします。

X-Rite の保証は、次から発生する保証製品の欠陥を除きます。(i) 出荷後の損害、事故、乱用、誤使用、放置、変更等の X-Rite の推奨、付属書類、公表仕様、業界基準に沿わない使用。(ii) 推奨される仕様以外の操作環境における装置の使用、または X-Rite が提供する保守手順書や公表仕様に準拠しない場合。(iii) X-Rite または認定された会社以外による修理またはサービス。(iv) X-Rite より製造、流通、承認されていない部品や消耗品の使用により発生した保証製品の欠陥。(v) X-Rite より製造、流通、承認されていない付属品または修正が保証製品に追加された場合。また、消耗品および製品の手入れは保証に含まれません。

上記保証の破損に対する X-Rite の限定義務は、いかなる部品の無償修理または交換とし、保証期間内に欠陥品と証明され、かつ X-Rite が合理的に納得できるものに限り、X-Rite による修理または交換により保証期間は回復されず、また保証期間は延長されません。

X-Rite より指定されたサービスセンターに欠陥製品を送付される際は、梱包および郵送はお客様の自己負担となります。製品の返送費用は、X-Rite のサービスセンターが担当する地域のみ、X-Rite が負担いたします。指定地域外の場合、郵送料、関税、税金等の全ての費用はお客様の自己負担となります。保証期間中にサービスをお受けになる場合は、領収書などの購入日を証明する記録が必要です。本製品は絶対に分解しないでください。ユーザーにより分解された場合、製品保証は無効となります。装置が作動しない、あるいは正しく機能しないと思われる場合は X-Rite の東京サービスセンターまでお問い合わせください。

これらの保証は購入者にのみ適用されるもので、暗示・明示を問わず、市販性、特定目的や用途への適合性、非侵害性の暗示された保証を含む、またそれに限らず他の保証すべてに代わるものです。X-Rite の経営陣以外の社員または代理店は、前述以外のいかなる保証も提供することが承認されていません。

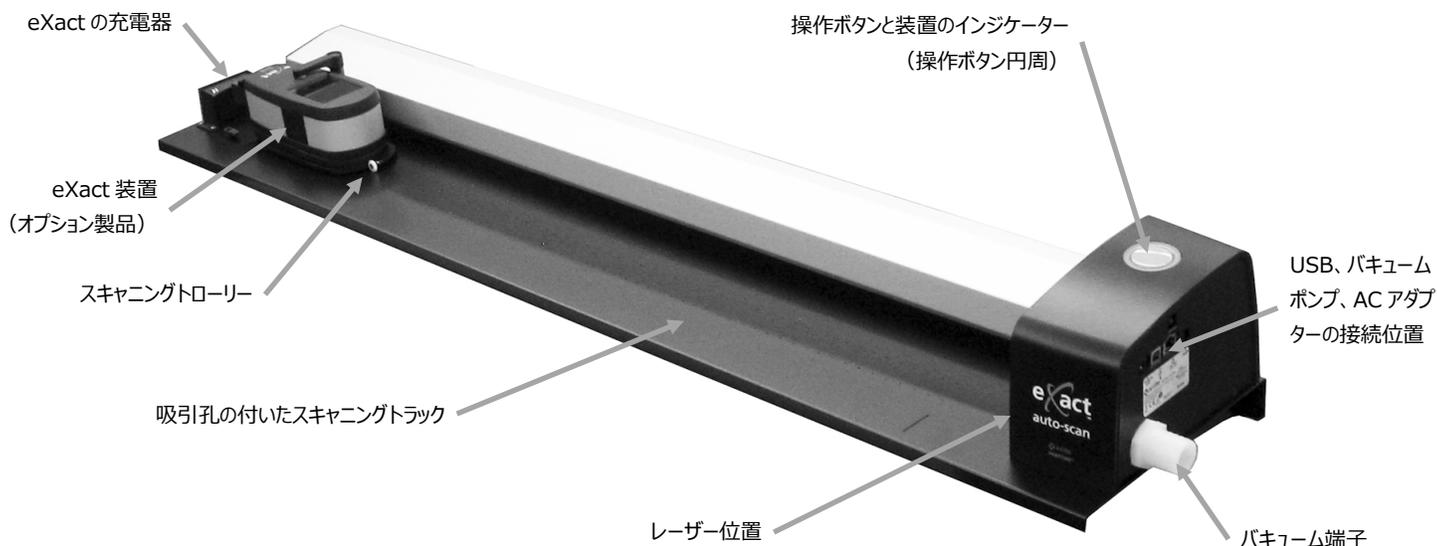
X-Rite はお客様の製造コスト、経常経費、利益の損失、信用、その他の費用、および契約いかなる保証の破損、過失、不正行為、その他の法理による間接的、特別、付随的、重要な他の損害に責任を負いません。いかなる場合においても、これによる X-Rite の責任は、X-Rite が供給した商品またはサービスの価格を上限とします。

目次

概要と設置	4
本説明書について	4
開梱と内容点検	5
システムの接続	5
バキュームポンプの接続 (オプション)	6
フットスイッチおよびバキュームポンプの接続 (オプション)	7
eXact InkKeyControl 2 ソフトウェアのインストール (オプション)	8
システム要件	8
ソフトウェアのインストール	8
eXact Auto-Scanのインジケータ	8
eXact装置の設定	9
システムの操作	12
用紙のセットおよび調整	12
カラーバーの測定	13
スポットカラーの測定	14
キャリブレーション	15
付録	16
サービスについて	16
トラブルシューティング	16
eXact Auto-Scanのリセット	16
清掃について	17
eXact Auto-Scanの清掃	17
システム接触部の清掃	17
eXactの手入れ	18
eXactオブチクスの手入れ	18
eXactキャリブレーションプレートの清掃	18
レーザーの調整手順	19
eXact Auto-Scanシステムの仕様	20
eXact Auto-Scanのバキューム/フットスイッチのワイヤリング	21

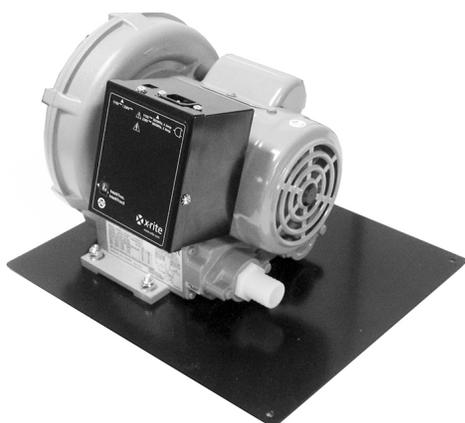
概要と設置

eXact Auto-Scan システムは、印刷管理を効率的に行います。スポット測定には、装置をスキャニングローリーから取り外し可能です。



バキュームポンプ (オプション)

トラック上に並んだ小さな吸引孔は、測定中にプレスシートを固定します。



フットスイッチ (オプション)

ハンズフリーの測定を実行します。



本説明書について

本説明書は、システムのインストール、操作およびメンテナンスについて説明しています。具体的な操作方法につきましては、お使いになるソフトウェアのヘルプファイルに従ってください。

開梱と内容点検

納入時の梱包から機器を取り出し、傷がないか調べてください。もし何らかの傷が付いている場合は、直ちにお買い求めになった販売店にご相談ください。また、その際は製品のインストールをご遠慮ください。

パッケージ内容

- eXact Auto-Scan
- 充電アダプター
- USB インターフェースケーブル
- AC アダプター (X-Rite P/N SE30-277) および電源コード
- 用紙ストップ/マグネット式紙抑え (4)
- ハンドヘルド式用紙ストップ (2)
- バキュームポンプ (オプション製品)
- フットスイッチ (オプション製品)
- eXact InkKeyControl 2 ソフトウェアのインストール (オプション製品)

システムの接続

注記：システムは AC アダプターをコンセントに挿入する前に、室温で安定させてください。

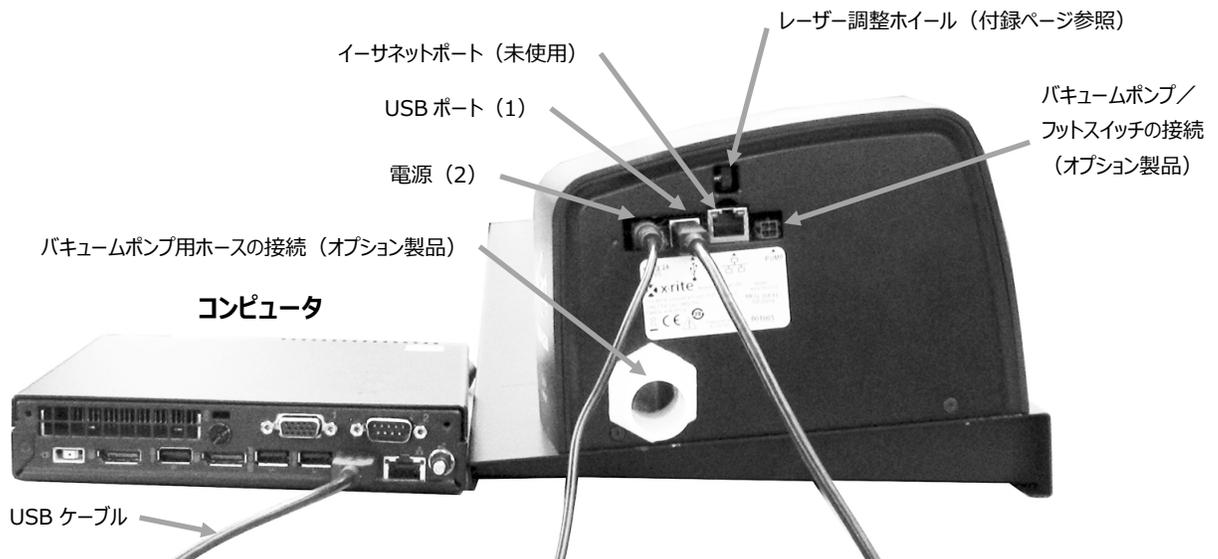


X-Rite SE30-277 以外の使用は危険です。

USB ケーブルの片端をコンピュータの専用ポートに挿入します。

ケーブルのもう一方の端を、システム右側の USB ポートに挿入します。

eXact Auto-Scan の電源プラグを、システム右側の入力端子に差し込んでください。



取り外し可能な AC アダプターを電源入力に挿入した後、コンセントに挿入します。

必要に応じてコンピュータの電源、モニター、キーボード、マウスを、装置付属の手順書に従ってコンピュータに接続します。

注記：オプション製品のバキュームポンプとフットスイッチの接続に関しては、次のページをご覧ください。

バキュームポンプの接続（オプション）



- バキュームホース（1）の片端をバキュームスイッチの吸気ポートに取り付け、もう一方の片端をシステム右側の吸気ポートに取り付けてください。

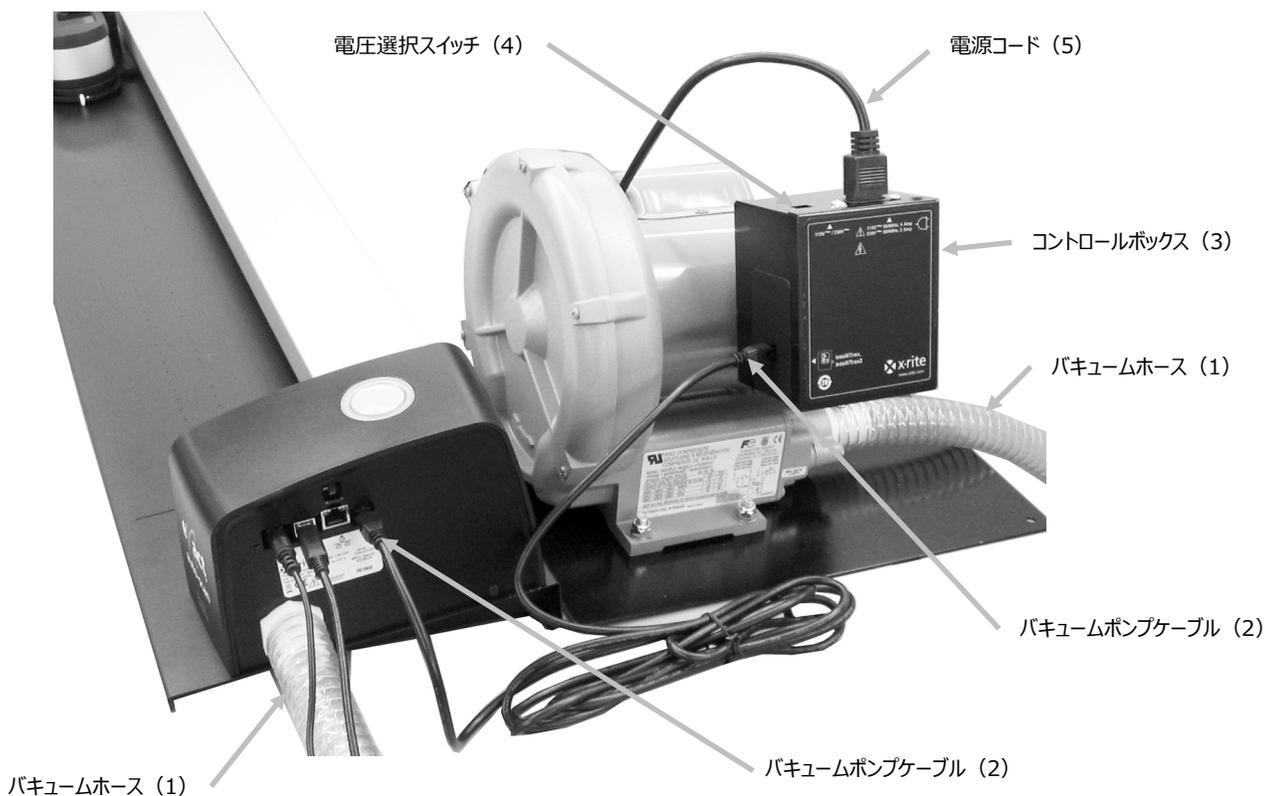
バキュームポンプケーブル（2）の片端をコントロールボックス（3）の端子に挿入し、もう一方の端をシステム右側の端子に取り付けてください。

重要：eXact Auto-Scan のコントロールボックスから、真空ポンプのケーブル端子と取り外す手順は本ページ下を参照してください。

コントロールボックス上部の電圧切替スイッチ（4）が、地域に合った正しい入力電圧に設定されていることを確認してください。

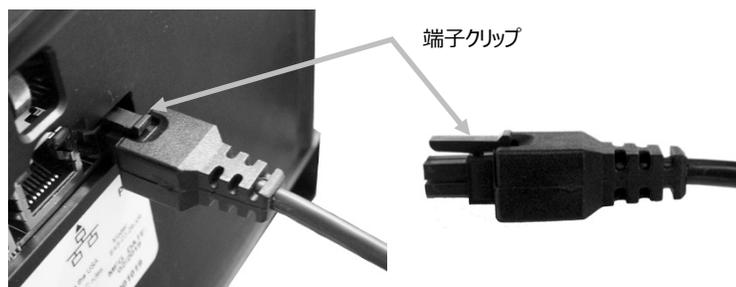
取り外し可能な AC コード（5）をコントロールボックス（3）に接続した後、接地コンセントに挿入します。

注記：エクスライト社の AC 電源コードのみをご使用ください。その他の電源コードは本製品の規制に準拠しません。電源コードの交換が必要な際は、エクスライト社までお問い合わせください。



真空ポンプケーブルの取り外し手順

- ケーブル端子上部のクリップを押し下げます。
- ケーブル端子を外向きに引っ張ります。



フットスイッチおよびバキュームポンプの接続（オプション）



フットスイッチは、オプション製品のバキュームポンプと併用します。

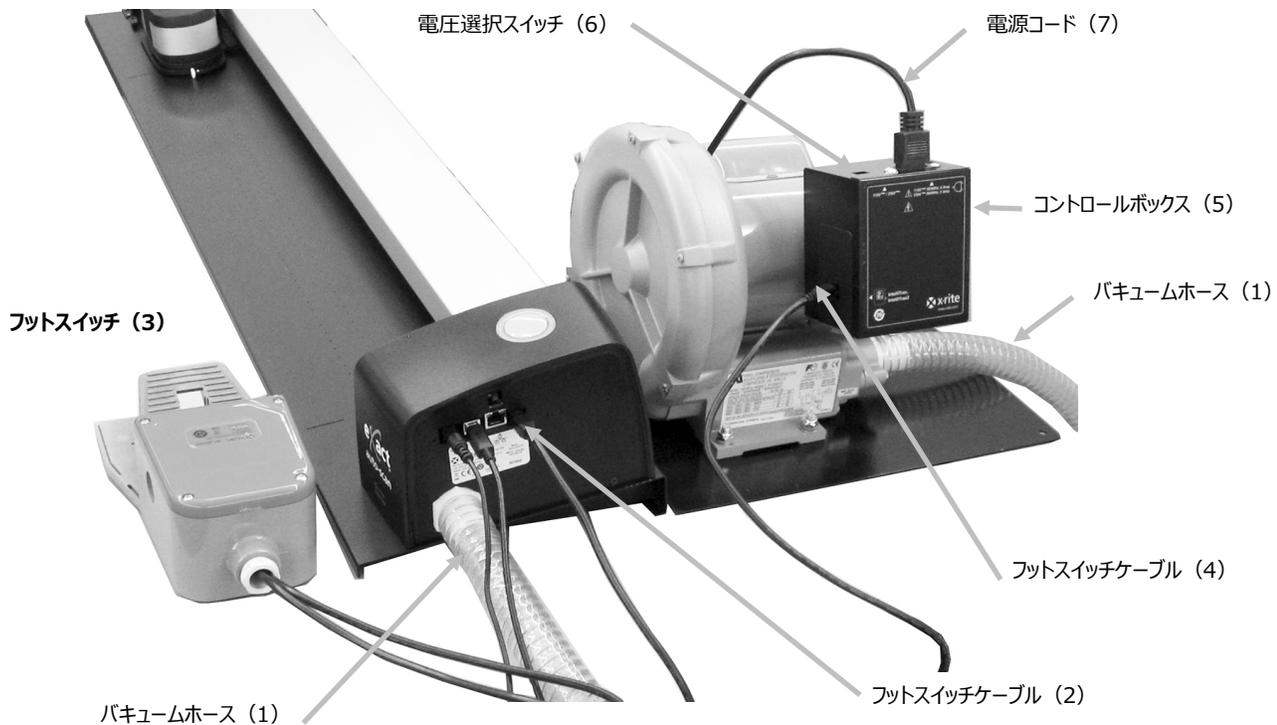
- バキュームホース（1）の片端をバキュームスイッチの吸気ポートに取り付け、もう一方の片端をシステム右側の吸気ポートに取り付けてください。
- フットスイッチ（3）の片方のケーブル（2）を、システム右側の端子に挿入します。

重要：eXact Auto-Scan のコントロールボックスから、フットスイッチのケーブル端子と取り外す手順は本ページ下を参照してください。

- フットスイッチ（3）もう一方のケーブル（4）を、バキュームポンプのコントロールボックス（5）に挿入します。
- コントロールボックス上部の電圧切替スイッチ（6）が、地域に合った正しい入力電圧に設定されていることを確認してください。

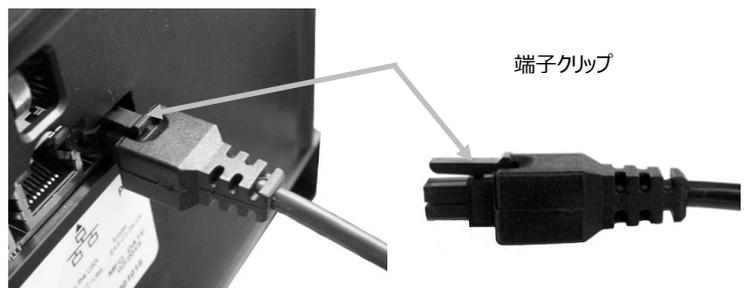
- 取り外し可能な AC コード（7）コントロールボックス（5）に接続した後、接地コンセントに挿入します。

注記：エクスライト社の AC 電源コードのみをご使用ください。その他の電源コードは本製品の規制に準拠しません。電源コードの交換が必要な際は、エクスライト社までお問い合わせください。



フットスイッチのケーブル取り外し手順

1. ケーブル端子 上部のクリップを押し下げます。
2. ケーブル端子を外向きに引っ張ります。



eXact InkKeyControl 2 ソフトウェアのインストール（オプション）

システム要件

- 2 GHz コンピュータプロセッサ (3 GHz 推奨)
- 2 GB 以上、4 GB 推奨
- Windows 7、8、10
- 100 GB 以上のハードドライブ
- 1280 x 1024 以上の解像度に設定された 17 インチのタッチスクリーン
1920 x 1080 の解像度に設定された 22 インチのタッチスクリーン (推奨)

ソフトウェアのインストール

注記： Windows ファイアウォールやアンチウイルス プログラムを終了してください。ソフトウェアの再インストールやアップデートを行う際は、eXact InkKeyControl 2 の旧バージョンを必ず削除してください。**この操作によって、保存されたデータベースファイルが削除されることはありません。**すべてのデータ情報は保持されます。

eXact InkKeyControl 2 ソフトウェアは Windows® の標準インストール手順を実行します。

- eXact InkKeyControl 2 ソフトウェアのフラッシュドライブを USB ポートに挿入します。eXact InkKeyControl 2 の設定画面が自動的に起動しない場合は、Windows Explorer を開き、USB ドライブを検索してください。**Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。
- インストール手順が表示されます。セットアップの各画面に表示される指示に従ってインストールを完了します。
- ソフトウェアの使用方法は、eXact InkKeyControl 2 のヘルプファイルを参照してください。

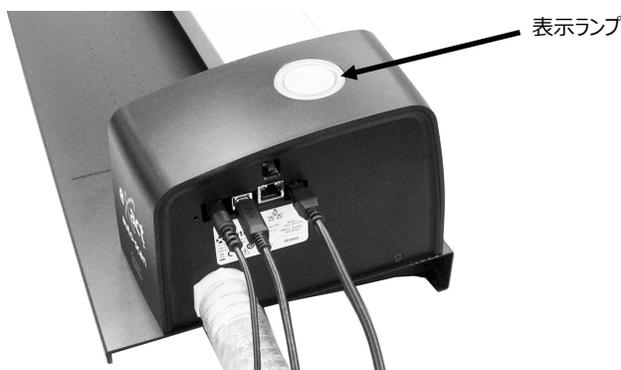
注記： eXact InkKeyControl 2 は、SQL サーバーの無償バージョンを利用します。本バージョンは 2、3 の制限を除き完全に機能します。詳しくは、[データベース管理ツール] のヘルプファイルを参照してください。

eXact Auto-Scan のインジケータ

操作ボタン周囲のインジケータ照明は、現在の状態を表します。

緑色の点灯：eXact 装置が充電器にセットされており使用可能です。

橙色の点滅：装置が測定を実行しています。



eXact 装置の設定

- 装置の Bluetooth 機能を有効に設定し、コンピューターとペアリングします。詳細は eXact のユーザーガイドを参照してください。
- 充電アダプター (1) を eXact 装置の後部に挿入します。アダプターが正常にセットされると、底のタブが裏側の安全ケーブルにカチッとハマります。

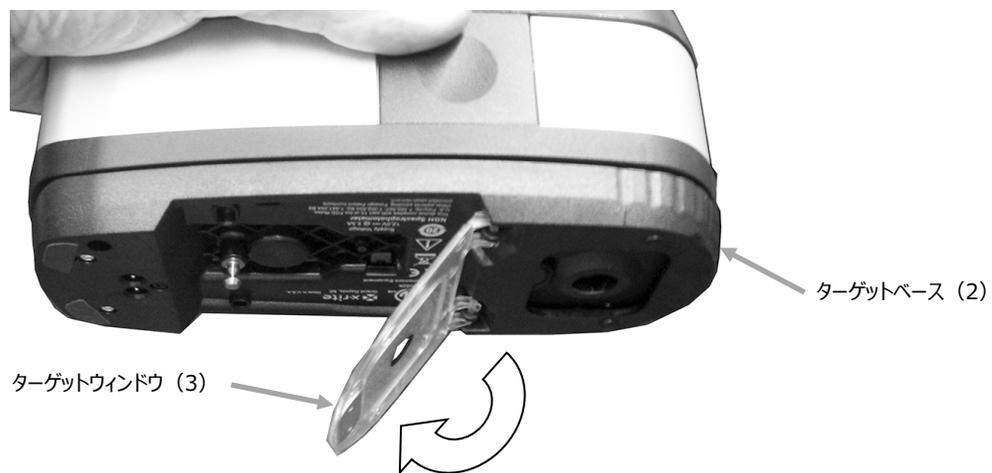
充電アダプターを取り外すには、ロックタブを上向きに引っ張ります。



注記： Bluetooth 機能が使用されていない場合は、eXact 装置の USB を充電アダプター上のチャンネルに接続してください。それによりケーブルが、充電器やトラックの操作を邪魔することはありません。この USB ケーブルは、以前に設置された eXact Auto-Scan システムの USB ケーブルとは別のケーブルです。USB ケーブルを機器の背面に差し込みます。コンピューターの USB ポートに USB コネクタを差し込んでください。

eXact のターゲットベース (2) を装置に対してロックします。

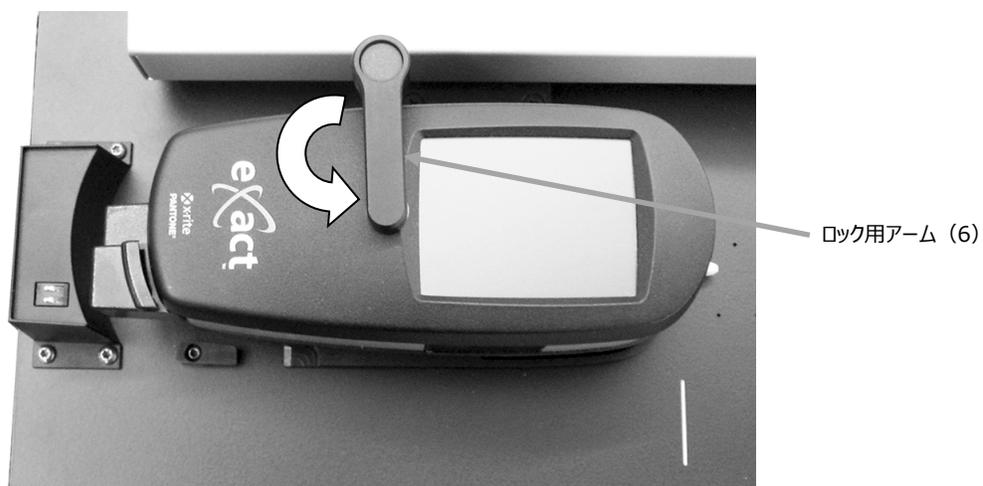
ターゲットベース底にある eXact ターゲットウィンドウ (3) を 180°回転させてください。



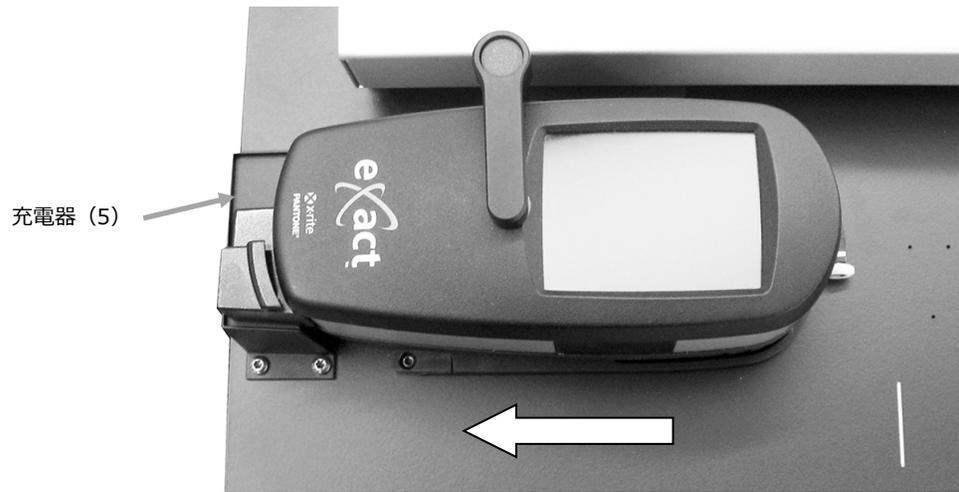
スキャングトローリー (4) を、充電器 (5) から数センチ離します。
eXact 装置をスキャングトローリー (4) 上にセットし下げます。



eXact のロック用アーム (6) を反時計方向に回転させ、スキャングトローリーに固定させます。これにより装置が測定中に安定します。



装置とスキャングトロローを、充電器（5）に向けてスライドさせます。



システムの操作

カラーバーの作成・選択手順は、ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。下記はカラーバーの測定手順に関する内容です。

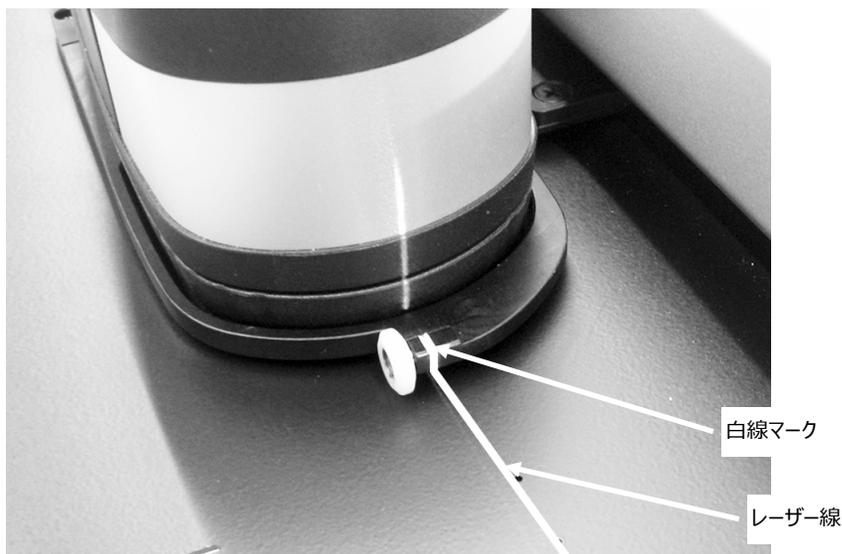
用紙のセットおよび調整

プレスシートはトラックの後方からセットするか、または前方からカラーバーを調整します。オプションのポンプが使用されていない場合、プレスシートは付属のマグネットまたは吸引孔で固定されます。

注意：クラス 1 レーザー製品

- 装置とスキャニングトローリーを、充電器に向けてスライドさせます。これで調整用レーザーが稼働します。

注記：レーザー線を、スキャニングトローリー端の白線マーク中央にセットします。レーザーは、スキャニングを実行する前に必ず中央にセットしてください。詳しくは付録ページにある「レーザーの調整手順」を参照してください。



- プレスシートの端を、スキャニングトローリー前方の白線（1）に合わせます。
- レーザー線（2）が測定するカラーバーの中央になるよう、カラーバーを手動で調整します。

注記：測定が実行されない場合は、30 秒後にレーザー線が OFF になります。レーザーは次のいずれかの方法で再度有効になります。

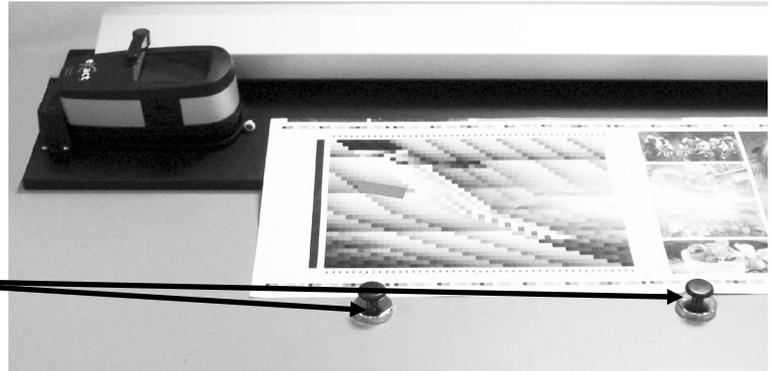
- トローリーを充電器から一旦離してから元の位置に戻す
- eXact InkKeyControl ソフトウェアのアイコンでレーザーを ON にする
- eXact スキャンシステムの操作ボタンを押す
- オプションのフットスイッチを使用する（使用されている場合）
- 必要に応じてプレスシート上端の用紙ストップ／マグネット式紙抑え（3）を使用し、追加のシートを調整します。用紙ストップの調整機能に関する詳細は次のページを参照してください。

- **バキュームポンプを使用しないシステム**：用紙ストップ／マグネット式紙抑え（4）を、トラックの底端に沿ってシート上にセットします。



ハンドヘルド式用紙ストップ：システムが金属テーブル／コンソールに設置されている場合は、ハンドヘルド式用紙ストップ（5）をシート底端に合わせてセットすることもできます。

ハンドヘルド式用紙ストップのマグネット（5）



カラーバーの測定

下記はカラーバーの測定手順です。

注意：スキャニングトローリーが移動中は絶対に触れないでください。

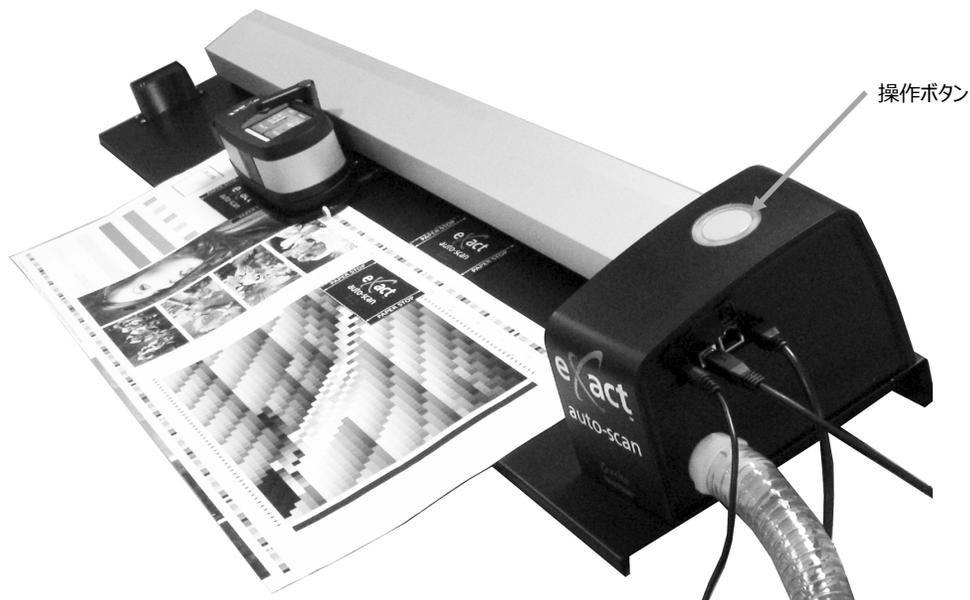
1. プレスシートが正しくセットされていることを確認してください。
2. ソフトウェアからジョブを開きます。
3. ソフトウェアから [測定] 機能を選択するか、または eXact Auto-Scan システムの [操作] ボタンを押して測定を開始します。オプションのフットを押して測定を開始することもできます。

重要：

操作ボタンまたはフットスイッチを押すと、レーザー機能が ON になります。レーザーがすでに ON になっている場合、操作ボタンまたはフットスイッチを押すと測定が開始します。

測定が始まるとレーザーが OFF になり、バキュームポンプが稼働し（オプション製品が使用されている場合）、eXact Auto-Scan システムの「緑」の照明が「橙色の点滅」に変更します。カラーバーがスキャンされたら、測定データがコンピューターのモニターに表示されます。

カラーバーの測定を中止するには、操作ボタンまたはオプションのフットを再度押します。



スポットカラーの測定

装置は、必要に応じてインキ色およびスポットカラーの測定に使用します。装置のターゲットウィンドウのベースプレートは、サンプル上で平らに安定させて置いてください。

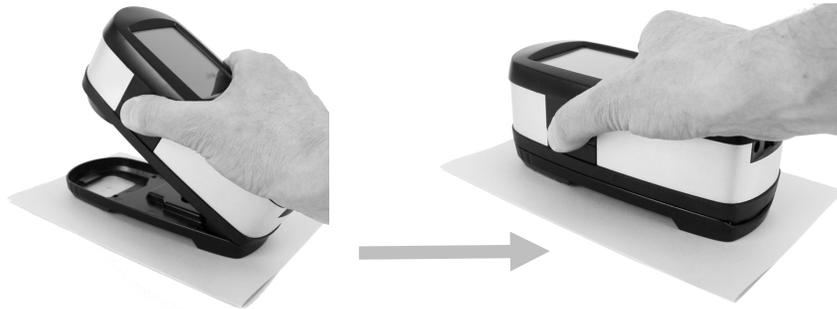
次は、eXact 装置でスポット測定を行う手順です。

1. eXact 装置をスキャニングトローリーから外します。
2. eXact のターゲットベース底にあるターゲットウィンドウを、スポット測定位置に合わせて 180°回転させてください。



3. ターゲットウィンドウを測定サンプルの中心に合わせてください。ターゲットウィンドウ全体にサンプル色が埋まるようにしてください。
4. 本体をベースプレートにしっかりと押しつけます。[測定しています] がディスプレイに表示されます。
5. [完了] が表示されるまで、そのまま動かさずに装置を保持してください。測定結果がコンピューターのモニターに表示されます。

6. 測定中に機器を動かしたり、固定されていなかった場合は、コンピューターのモニターに何も表示されません。その際は、測定をやり直してください。



7. 終了後はターゲットウィンドウをスキャン位置に戻し、装置をスキャニングトローリーに再度取り付けてください。

キャリブレーション

重要：キャリブレーション基準板は、しみや埃に大きく影響されます。装置の清掃は定期的に行ってください。詳しくは付録ページの清掃手順を参照してください。

1. キャリブレーションの指示が表示されたら、必要に応じて eXact 装置をスキャニングトローリーから取り外します。
2. 装置を開き（ロック解除状態）、eXact の [開始] ボタンをタップします。画面：装置に残りの秒が表示され、キャリブレーションが実行されます。

付録

サービスについて

eXact Auto-Scan は、1 年間の無償の製品保証が付いているため、保証期間中に修理の必要があると思われる場合は、直ちに販売店にご相談ください。

修理はエクスライト社にて行います。本機は光学系を始めとして精緻な構造になっています。本機を絶対に開けたり分解したりしないでください。

また、保証期間経過後も、引続き有償での修理を行います。その際は、郵送料および修理代にかかる費用は自己負担となります。また、送付の際には機器をオリジナルの梱包箱に入れて出荷してください。

トラブルシューティング

下記の方法で問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店までお問い合わせください。さらなるお問い合わせは、エクスライト社のサポートセンター（E メール：japan@xrite.com）までご連絡いただくか、弊社ウェブサイト（www.xrite.co.jp）を参照してください。海外の連絡先は、本書の裏表紙をご覧ください。また、エクスライト社のグローバルサイトから（www.xrite.com）よくある質問をまとめた FAQ ページもご利用いただけます。

機器の表示ランプが作動しません。

電源が ON になっていることを確認してください。

装置をリセットします。（「eXact Auto-Scan のリセット」参照）

機器とソフトウェアの通信が取れません。

USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

ソフトウェアを終了し、機器の電源を入れ直し、ソフトウェアを再起動してください。異常が続くようであればコンピューターを再起動します。

装置をリセットします。（「eXact Auto-Scan のリセット」参照）

eXact Auto-Scan のリセット

次の手順で eXact Auto-Scan を工場出荷状態の設定に戻します。

1. システムの電源が ON になっていることを確認してください。
2. 小さなスクレードライバーまたはクリップを使用し、リセットボタンを押します。リセットボタンは電源ケーブル左側の穴にあります。
3. 表示が橙から緑に戻ります。表示が緑に戻った時点でリセットボタンを離します。



リセットボタンの位置

清掃について

システムは、次に説明するような簡単な清掃を行うことにより、長期間にわたって安定した性能を発揮します。読取り精度を保つためには、以下のような簡単なクリーニングが必要です。



注意：ヘッドを清掃、移動、インストールする際は、接地したリストストラップをご使用ください。

清掃を行う前に AC 電源を必ずシステムから外してください。

eXact Auto-Scan の清掃

システムのカバー（外側）は、中性洗剤を入れた水で濡らし絞った布で拭いてください。

カバーとスキャニングトラックには、水や洗剤などの液体を直接吹きかけないでください。

溶剤や漂白剤は絶対に使わないでください。

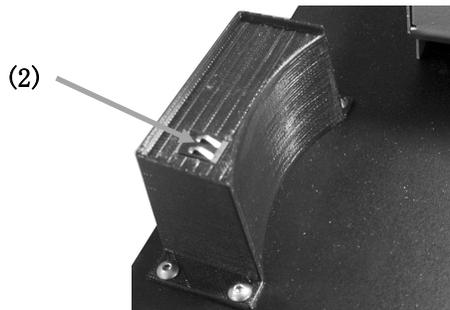
トラックは、ガラス専用クリーナーを使って埃のない乾いた布（レンズクリーナーなど）で、週に一回または汚れや埃の多い環境ではより頻繁に拭いてください。必ずトラック全体を拭いてください。トラックがドッキングされた時に、eXact 装置のトローリー下に位置する部分のトラックも清掃してください。必要に応じてスライドさせ、ヘッドの下を清掃してください。

システム接触部の清掃

1. eXact 装置をスキャニングトローリーから外し、電源を OFF にします。
2. eXact 装置を裏返しにし、充電器（1）の接触部を週に一回、イソプロピルアルコールを入れた水で濡らし絞った布で拭いてください。



3. eXact Auto-Scan システムの電源が OFF になっていることを確認してください。
4. eXact の充電器（2）の接触部を週に一回、イソプロピルアルコールを入れた水で濡らし絞った布で拭いてください。



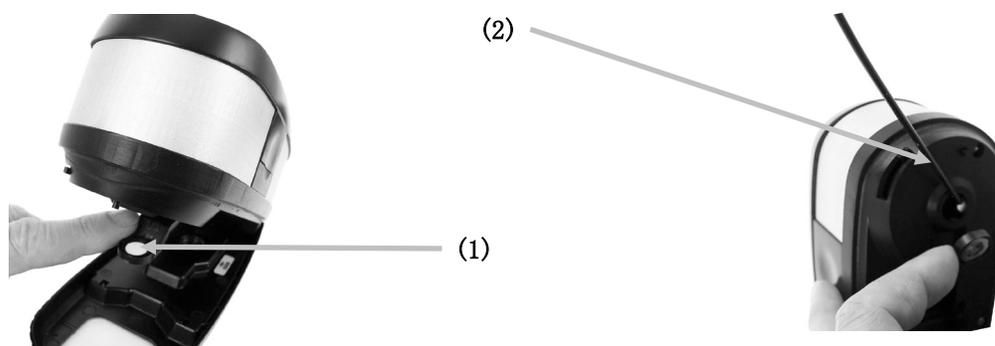
eXact の手入れ

装置の外側とタッチディスプレイは、水またはイソプロピルアルコールを入れた水で濡らし絞った布で拭いてください。

eXact オプチクスの手入れ

光学系のクリーニングは、一般的な使用環境でも週に一回程度は実施していただくことをお勧めします。汚れや埃の多い環境では、より頻繁にクリーニングを行ってください。

1. 装置をスキャニングトローリーから外します。
2. リファレンス（キャリブレーション基準板）ホルダー（1）を後方に回転し、そのまま維持します。
3. 測定部ポートに空気（2）を吹き込んでください。これで、光学系の部分に溜まった埃を取り除くことができます。
4. キャリブレーションホルダーを通常の位置に戻してください。



重要：エアースプレー式の缶を使用する際は、逆さまにしたり、傾けたりしないでください。光学系を損傷する恐れがあります。

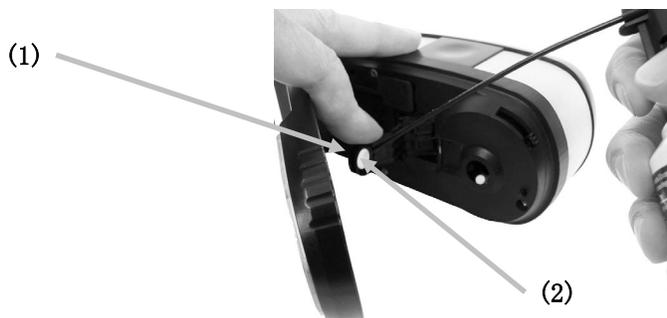
eXact キャリブレーションプレートの清掃

キャリブレーション基準板は、定期的に清掃してください。

洗剤や溶剤類は絶対に使わないでください。

キャリブレーションタイルは、リファレンスホルダーに搭載されています。

1. eXact置をスキャニングトローリーから外し、ターゲットベースを開きます。
2. リファレンス（キャリブレーション基準板）ホルダー（1）を後方に回転し、そのまま維持します。
3. キャリブレーションタイルに空気（2）を吹き込んでください。これで、溜まった埃を取り除くことができます。



4. キャリブレーションホルダーを通常の位置に戻してください。

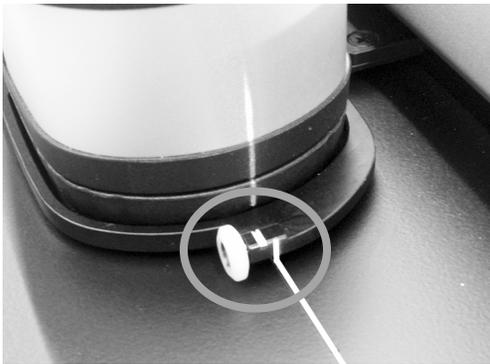
レーザーの調整手順

レーザー線は必ず、スキャングトロローリー端にある白線マーク中央にセットしてください。下記の調整手順に従ってください。

1. レーザー線をONにするため、装置とスキャングトロローリーが充電器に向けてセットされていることを確認してください。
2. スキャングトロローリー前方からレーザー線の位置を参照します。

適切にセットされていないレーザー線

間違った後方の調整



間違った前方の調整



3. レーザー線が白線マークの後方であれば、調整ホイールを上向きに回転し白線マークの中央にセットしてください。
レーザー線が白線マークの前方であれば、調整ホイールを下向きに回転し白線マークの中央にセットしてください。

レーザー線の調整ホイール



適切にセットされていないレーザー線

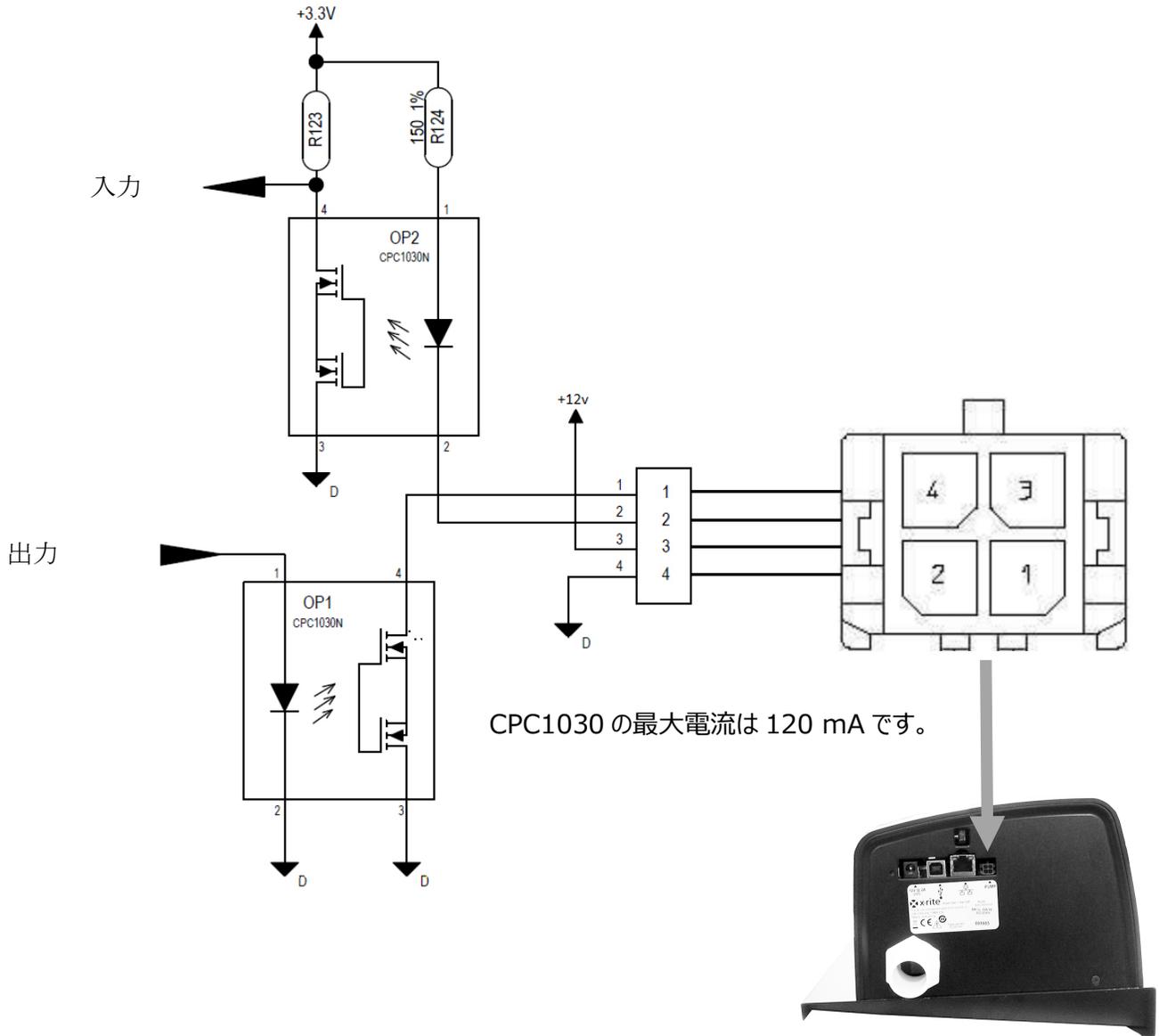


eXact Auto-Scan システムの仕様

測定システム	分光分析	DRS分光エンジン
	分光範囲	400 nm ~ 700 nm、10 mm 間隔
	光学幾何条件	45°/0° リング照明レンズ、ISO 5-4:2009(E)
	光源	ガス充填式タングステンランプ (イルミネントタイプA) およびUV LED
	測定条件	M0、M1 (1&2)、M2、M3* (全てISO 13655:2009に準拠) *M3オプションはXPモデルに使用できません。
	キャリブレーション	ビルトインのキャリブレーション基準板 (白色基準板)
	器差	平均: 0.25 ΔE^*ab 、最大0.45 ΔE^*ab (M3 0.55 ΔE^*ab) (23°C +/- 1°C, 40~60% RH環境下でのBCRAタイル12色および白色セラミックリア レンスの測定値をエックスライト社基準値で評価) (D50、2°)
	短期繰り返し精度 - ホワイト	0.05 ΔE^*ab (標準偏差)、白色BCRA (5秒ごとに10回測定、平均値からの誤差)
	短期繰り返し精度 - 濃度	CMYK測定に+/-0.01 D
	データインターフェース	Bluetooth
スキャンシステム	トラックの長さ	29インチ/74 cm、40インチ/102 cm
	最小パッチサイズ (ストリップの高さ)	3.0 mm (1.5 mmのアーチャー) 4.0 mm (2 mmのアーチャー)
	スキャン速度	4 mm パッチ上の1.5 mm アーチャー: >= 160 mm (7")/秒
	データポート	USB、イーサネット
eXact InkKeyControl ソフトウェア	色	16 チャンネルまで可能
	印刷基準のサポート	Japan Color ISO 12647-2、G7、PSO
	濃度機能	濃度、ドットゲイン (SCTVを含む)、トラッピング、コントラスト、グレーバランス
	色彩測定機能	CIE L*a*b*、CIE L*C*h°
	ΔE の表示方式	ΔE^*76 、 ΔE^*94 、 ΔE^*00
	特別機能	ベストマッチ
	濃度白色基準	絶対的、用紙
	Pantoneカラーライブラリ	含む
	PantoneLIVEサポート	オプション
操作環境	操作温度:	+10° ~ +35°C
	湿度範囲:	0 ~ 85% RH (結露なし)
	保存温度:	-20°C ~ 50° C
	使用:	屋内のみ
	高度:	2000m
	汚染度:	2
	過電圧:	カテゴリ-II
	電源:	X-Riteパーツ番号: SE30-277、100-240VAC 50/60Hz、12VDC @ 2.5A
	バキュームポンプ:	X-Riteパーツ番号: SD07-07、115/230 VAC 60/50 HZ 3.6/1.8 アンペア

デザインおよび仕様内容は、予告なしに変更することがあります。

eXact Auto-Scan のバキューム／フットスイッチのワイヤリング



ピン	名前	詳細
1	出力	外部コントロール：測定中に 120 mA までの電流を出力します。
2	入力	外部トリガー：接地時にレーザーが ON になり、レーザーがすでに ON の場合は測定が開始されます。
3	+12v	+12 VDC、500 mA までを出力（ヒューズなし）
4	GND	直流接地



エックスライト社

〒135-0064

東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンター西棟6F

Tel (03)5579-6545

Fax (03)5579-6547

エックスライト社 米国本社

米国ミシガン州グランドラピッズ

Tel (+1) 616 803 2100

Fax (+1) 616 803 2705

エックスライト社 ヨーロッパ

スイス レーゲンズドルフ

Tel (+41) 44 842 24 00

Fax (+41) 44 842 22 22

各地域のお問い合わせ先は www.xrite.co.jp でご覧いただけます。